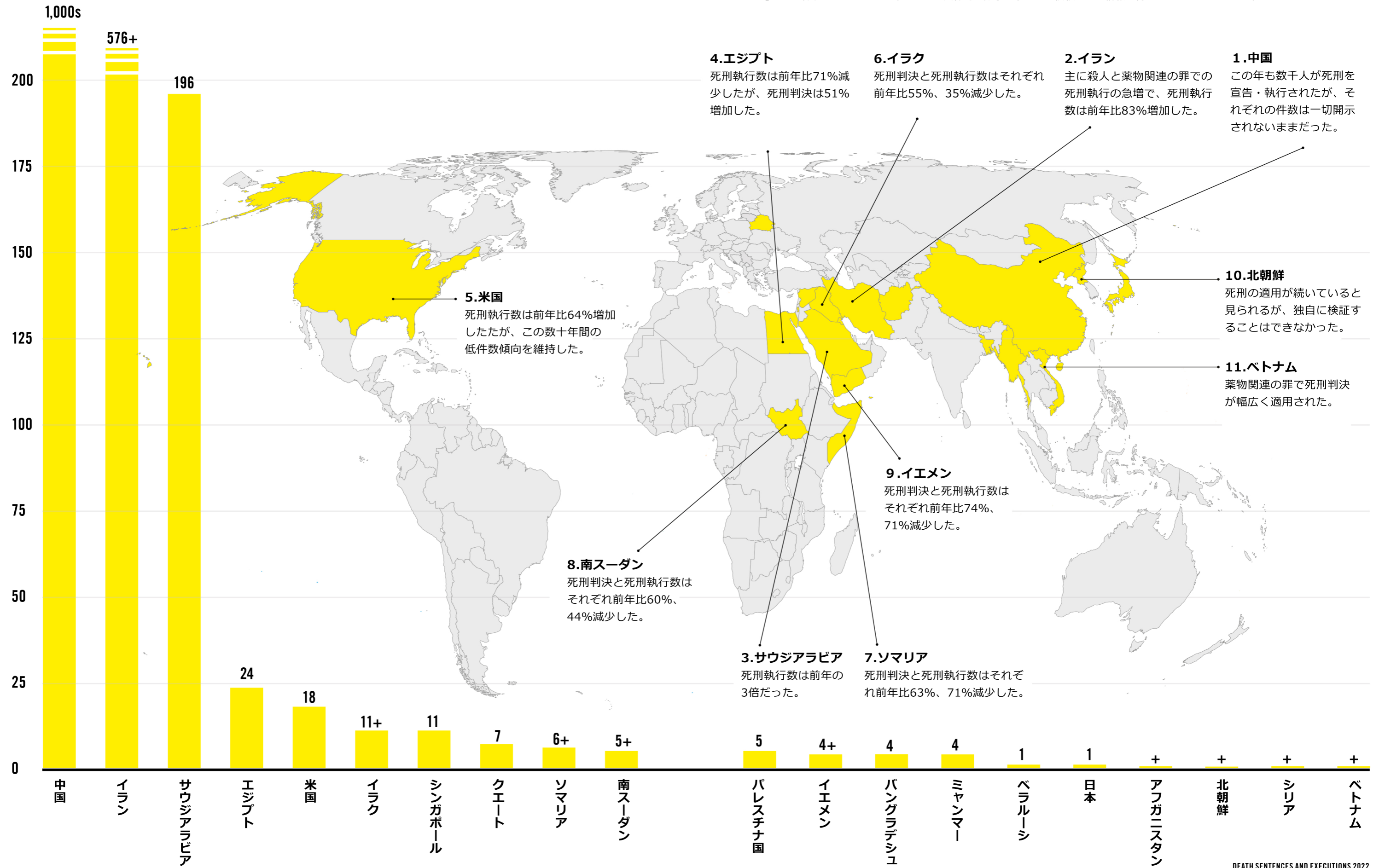


2022年死刑執行国

・本地図の国境は一般的に使用されているもので、アムネスティの考えを示すものではない。
 ・説明のある11カ国は、過去5年間死刑執行が続いた国。
 ・数字右の「+」は「少なくとも」を意味し、「14+」なら「少なくとも14件の執行があった」ことを示す。数字なしの「+」は、1件以上あったことは確かだが、具体的な数字を示すほど信頼できる情報を得られなかったことを意味する。



1.中国
 この年も数千人が死刑を宣告・執行されたが、それぞれの件数は一切開示されないままだった。

2.イラン
 主に殺人と薬物関連の罪での死刑執行の急増で、死刑執行数は前年比83%増加した。

3.サウジアラビア
 死刑執行数は前年の3倍だった。

4.エジプト
 死刑執行数は前年比71%減少したが、死刑判決は51%増加した。

5.米国
 死刑執行数は前年比64%増加したが、この数十年間の低件数傾向を維持した。

6.イラク
 死刑判決と死刑執行数はそれぞれ前年比55%、35%減少した。

7.ソマリア
 死刑判決と死刑執行数はそれぞれ前年比63%、71%減少した。

8.南スーダン
 死刑判決と死刑執行数はそれぞれ前年比60%、44%減少した。

9.イエメン
 死刑判決と死刑執行数はそれぞれ前年比74%、71%減少した。

10.北朝鮮
 死刑の適用が続いていると見られるが、独自に検証することはできなかった。

11.ベトナム
 薬物関連の罪で死刑判決が幅広く適用された。